

第5回

商店街NEXTチャレンジャー育成事業Report

2025.2.15(土) 14:00～17:30 福岡市商工会議所 第2研修室

参加者 / 17名
チャレンジャー 9名
他 講師 2名
事業実施者 3名
市職員 3名

今回のテーマ

「アドバイザーと共に学びをさらに深め、現場に繋げる」

第5回は、平成30年度から本事業のアドバイザーとして携わっている福岡大学の飛田先生と杉本先生を講師に迎え、「商店街をいかにして人材育成の場にするか？」や「商店街をいかにしてつながるための場にするか？」をテーマとしてお話いただきました。また、コーディネーターである木藤氏のもと、育成事業の総まとめとして、これまでの振り返りやこれから取り組みたいことについて話し合いました。

プログラム

- ① オープニング
- ② 飛田先生の講演
「商店街をいかにして人材育成の場にするか？」
- ③ 杉本先生の講演
「商店街をいかにしてつながるための場にするか？」
- ④ これまでの勉強会の振り返り
- ⑤ 各自の目標設定

<飛田努先生（福岡大学商学部経営学科准教授）>



飛田先生は、高校生向けの起業家教育プログラム「スプラウト」を軸に、商店街が未来の人材の育成の場となっていることについて、その事例を講義しました。「スプラウト」とは、大学生が高校生へアントレプレナーシップ教育を行うプログラムです。2019年より飛田ゼミと福岡女子商業高校で始まったこのプログラムは、現在、九州各地で実施されるようになりました。商店街や地域の企業と連携し、商品開発・販売・マーケティング・財務管理などの経験を積むことで、生徒たち自らが考え行動する力が養われます。今後は、さらに多くの地域で導入され、地方都市の課題解決や若者の地元定着に貢献することが期待されています。

<杉本宏幸先生（福岡大学商学部商学科教授）>



杉本先生は、専門であるマーケティング戦略について、現代の消費者行動の変化を踏まえた企業の事例や商店街での事例について講義しました。特に、消費者の関心を短時間で引きつける必要性が高まる中、デジタルマーケティングの活用やユーザー生成コンテンツ（UGC）の重要性を強調されました。講義の総括として、商店街が今後持続的に発展するためには、単なる販売の場にとどまらず、地域住民と積極的に関わりながら新たな価値を創出し、消費者との関係性を深めることが不可欠であるとの見解が示されました。

まとめ

本事業は、商店街活性化や地域づくりをテーマにした全5回シリーズの勉強会であり、各回ごとに異なるゲストスピーカーを招き、実践的な事例について講義いただきました。勉強会を通じ、地域資源を最大限に活かし、多様なステークホルダーと連携しながらまちづくりを進めることの重要性を改めて確認しました。最後は、各自が今後の目標に向けてチャレンジしていくことを全体で共有し、総まとめとしました。

